

国際ロータリー第2660地区

吹田西ロータリークラブ ウィークリー 2012-2013

■創立 1980.6.12

事務所 ☎564-0051 吹田市豊津町9番40号 江坂東急ビル1F
☎(06) 6338-0832 FAX (06) 6338-0020
URL <http://www.suita-west-rc.org>

例会場 新大阪江坂東急イン
☎564-0051 吹田市豊津町9番6号 ☎(06) 6338-0109

例会日 毎月曜日 18:00~19:00
役員 会長：坂口道倫 幹事：阿部吉秀 会報委員長：西村元秀



4つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

第1497回例会 平成25年6月3日

卓話 「一年間の総括」

クラブ奉仕 荻田委員長

職業奉仕 澁谷委員長

今週の歌「君が代」「奉仕の理想」

先週内容

会長挨拶 坂口会長



まもなく梅雨入りです。「ばいり」の語源は、ばいきんが発生しやすい温度湿度であるとのこと。皆様、食中毒にご注意下さい。また、高温多湿でうっとうしいため、例会ではクールビスでもかまいません。今週はゴルフに野球に、肩の力を抜いてがんばって下さい。

幹事報告 阿部幹事

○本日例会後、今年度・次年度の合同理事会を開催致します。理事の方はお残り下さい。

出席報告 荻田クラブ奉仕委員長

- 会員数 48名
- 来客 0名
- 出席会員数 37名
- 本日の出席率 92.50%
- 4月22日の出席率(メーキャップを含む) 100%

ロータリー親睦活動月間

次週 第1498回 例会予告 平成25年6月10日

卓話 「一年間の総括」 社会奉仕 橋本(芳)委員長
国際奉仕 由上委員長

Weekly No. 1497は青木委員が担当しました。
Weekly No. 1498は西村委員長が担当の予定です。
(本日の原稿をお渡し下さい)

誕生御祝 - 6月

会員

昭和38年 6月1日	阿部会員
昭和26年 6月15日	澁谷会員
昭和15年 6月28日	郷上会員
昭和2年 6月30日	中堀会員

以上4名

会員夫人

6月12日	家村会員夫人
6月14日	郷上会員夫人
6月20日	大藤会員夫人

以上3名

ロータリー財団委員会 清水委員長

2013年6月のロータリーレートは、1ドル100円と本部より連絡がありましたのでお知らせ致します。

青少年委員会 阪本委員

地区より「少年少女ニコニコキャンプ」開催のご案内が届きましたのでお知らせ致します。回覧しておりますので、ご参加希望の方はご記入ください。

“2013～2014年度 少年少女ニコニコキャンプ”

キャンプテーマ

『夏だ! わいわい友達と思い出つこう!』

開催日 2013年8月2日(金)～4日(日) 2泊3日

場所 紀泉わいわい村

〒590-0511 大阪府泉南市信達葛畑207番地
TEL:072-485-0661 FAX:072-485-0662

ニコニコ箱 山岡副SAA

◆本日のニコニコはありません。

本日のニコニコ箱 0円
累計のニコニコ箱 1,136,591円

卓話
「地区人道的補助金委員会について」 長屋会員



1. 財団法人道的補助金委員会の組織上の位置づけ(2012-2013年度)
人道的補助金委員会は、2660地区ガバナーの下、ロータリー財団部門の中の一委員会として組織されています。この組織図については、2660地区のWEBサイトを見れば、誰でも閲覧することができます。委員会は、委員長1名、副委員長2名のほか、6名の委員で構成されていました。

2. 委員会はどのようなことを行っていたか
財団法人道的補助金委員会は、各クラブから申請されてくる人道的プロジェクトに関する地区補助金、マッチンググラントの補助金申請について、審査を行っています。具体的には各クラブから提出される補助金の申請書の記載内容を検討し、各プロジェクトが人道的補助の目的に合致しているか、プロジェクトの内容は具体的にどのような内容か、受益者は誰か、各クラブのロータリアンは何名参加するのか、ロータリアンの資金面を除く活動は具体的にどんなものか、予算は収入・支出の額は適正かなどを審査するものです。見積書の提出、寄贈品の具体的な内容や効用などのパンフレットの提出を求めることもあります。委員会では、できるだけ審査を承認していく方向で検討するのですが、クラブの事情などもあって、速やかに承認までたどり着けない申請書もあります。本年度は、委員会で担当クラブを決めてメールで事前に調整を行い、審査委員会では、メールで事前承認を受けていたものについて、簡潔な報告をするという運営でした。

3. 組織変更に伴う財団法人道的補助金委員会の廃止について
この委員会は、本年度で廃止となり、2013-2014年度は、補助金小委員会が設置されます。従来通り運営をするのかどうかについては、年度が変わらなると分かりません。

4. 委員会に出席して感じることは、みなさんが大変勉強されていることです。ロータリー財団のテキストを何度も熟読されているようで、私の勉強不足は明らかでした。

「企業の品質は人」

枚本会員



NECや東芝など大手メーカーとの直接取引をしていることがある意味自慢であった。

弊社の主力製品であるアナログ無線機は、その大手メーカーの製造名板つけられユーザーの関西電力などに納められていた。

ところが大手メーカーが、そのアナログ無線機の事業撤退が始まった。

このままでは仕事が激減し、危機的状況になることを予測した。

関西電力は大手アナログ無線メーカーが撤退で、四国計測1社だけとなり、複数社購入が出来なくなり、大日電子に白羽の槍が向けられた。

・四国計測は社員数1,000人の四国電力100%の子会社。

・大日電子は社員数26人の弱小企業。

・競合の相手に勝ち抜くには、数少ない社員でもひととき目を引く社員の対応が信用につながると考えた。(挨拶、身だしなみ、掃除)

・考えたのが「企業の品質は人」

・仕事力、伝達力(コミュニケーション力)、やる気(モチベーション)を上げること

・仕事力→ISO9001の自力取得、エコアクション21、

・仕事の棚卸→全ての仕事を顕在化して、誰もが分かるようにする。

・知識と技術の棚卸→必要なスキルを顕在化し、

・教える側は何を教えたらいいのか、教わる側は何を知らないといけないのかを明確にする。教わる側は自分で育つことができる。

・やる気→やって成果を感じた時、やりがいを感じた時、仲間意識が感じられた時。

・伝達力とやる気→梅ちゃんの社員旅行の話(冊子)

・決まった予算と日程の中で旅行計画をたてた。

・旅行会社とのスケジュール調整、金額折衝、

・旅行のメニュー考案、

・社員の部屋割り、社員全員と面談して、食べ物の好き嫌いやタバコを吸うなど個別でヒアリングを行って、社員のそれぞれの性格を把握して決定した。

・伝達力→社員の性格を把握して、その後の仕事に役立てている。

・時間を有効に活用して、観光場所と見どころを外さず見れるようにスケジュールを組み立てた。

・旅行を終えて、社員皆に喜んで貰った事が、梅ちゃんの仕事が認めてもらったことになり、それが自信とやる気につながった。

・社長としては、この旅行を任せしたのは、この子を育てるためと、もし失敗しても身内なのでリスクが少ない。少ないリスクで社員教育が出来ると考えた。

・何よりも、依頼した旅行会社の担当者から、「わが社に梅ちゃんが欲しい」と言われた。

・口を出したかったけどもぐっと堪えて任せて見守った。

・これが社員育てにつながりこれを継続していくということが会社の発展につながると実感した。